

シャ
者

者 容器からはみ出るほど、“ものがひどくたくさんある”ことを表わした字。

もの

ひどい

たくさん(多い)

初の仮借

音、シャ ショ チョ ト

sha syo tyo to

シャ
煮

火をひどく燃やすのは何のため？

にる 例 煮沸(沸は湯をわかす)

シャ
奢

ひどく大きい顔をする

いばる 例 ^{キョウシャ} 驕奢・^{ゴウ} 奢傲

おごる 例 奢恣・豪奢

ショ
暑

日がひどく照りつける

あつい 例 酷暑・避暑・残暑

【反対】 寒い 【注意】 熱い 冷たい

ショ
諸

ひどく言(ことば)が多い(本義)

多い(多くの) 例 諸侯・諸君

(もろもろ) 例 諸国

チョ
著

ひどく草が茂る(本義)

ひどい(いちじるしい) 例 顕著・著明

目だつ(あらわれる) 例 著名

あらわす 例 著述・著書

ショ
署

網(罟)のように配置を密にする

手分けする 例 部署

役所 例 警察署・税務署

注 罟は罟で、網の象形。仕事を細かく手分けして、網の目を張ったように、取りこぼしのないように処理する意味の字。警察・税務署など、打ってつけの使い方である。

ショ
薯

ひどく根を張り、多くの実をつける

植物

いも

ショ
諸

注 甘藷(甘薯)はあまいもの意で、さつまいもというのは、わが国の原産地が薩摩の国(鹿児島県)であったため。

シヨ
緒

糸の初め

いとぐち(糸口) 例 端緒

初め 例 緒言・緒論・情緒(喜怒哀楽の糸口という意)

注 音は初であるが、チヨと慣用読みされる。

シヨ
渚

陸地から水にうつる初めのところ

なぎさ

シヨ
曙

日の出初め

あけぼの 例 曙光

注 暗黒を破って光明に満ちた世界になる前ぶれであるから、良いことの起こる前兆の意に用いられる。

ト
都

多くの邑(β)を含んだ大きな町

みやこ(その国の主権者の住む町)

大きな町 例 都市・都会

チヨ
猪

多くの食肉の取れる獣類(豕とも書く)

いの子(ぶた) 例 野猪(いのしし)

注 猪突猛进(猪がまっすぐに突っ走るように、向こう見ずなことを言う)

チヨ
箸

容器に盛られたものをつまむ竹のはさみ

竹ばし

注 昔の箸は一本の竹をピンセットのように折り曲げ、両端で物をはさんだ。その様子は鳥がえさをついばむ口ばしに似ているので“はし”の名がある。昔は、口ばしを単に“はし”と言った。

問 次のことばを漢字で書け。

あけぼの いとぐち なぎさ もろもろ いちじるしい

答 略